

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

学長挨拶

理事長・学長 田所 忠弘

新たな時代へ向けた支援！教育後援会皆様への願い！！



学報では、教育後援会皆様を始めOB皆様にもご協力賜りながら現在、新小岩地域、福島県塙町そして葛飾区等々への貢献度合いが年々高まり、イトーヨ

会長挨拶

後援会会長 川嶋 秀久



日頃より会員の皆様には後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は、感染症法上二類から五類へ位置付けられたことにより、これまで数年間自粛されていたイベント等も再開されつつありま

すが、感染者数の推移は残念ながら予断を許さない状況が続いております。そのような状況ではありますが、本学の教職員の皆様のご尽力により、校外実習、就職支援に加え、地域社会との共存共栄を図るべく、葛飾区や企業とのコラボレーションの機会を学生に提供し続けていただいております。後援会といたしましては、保護者の皆様方による学の方の学習状況や日頃の様子、担任の先生方と直接意見交換できる機会でもあり、保護者同士で互いの家庭での学習状

発想を通じた食の実践化が現実化しています。新小岩北口地区がまさに近い将来へ大きく変化、飛躍している今の現実は大

発想を通じた食の実践化が現実化しています。新小岩北口地区がまさに近い将来へ大きく変化、飛躍している今の現実は大

総会・役員会報告

●二月役員会報告

二月十八日(土)に役員会全体会が開催されました。

先ず、令和四年度事業報告案、

同決算報告案(同日現在)並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果同報告は承認されました。

引き続き、令和五年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認されました。

さらに、進級する役員の方の五年度留任並びに会長・副会長・会計・会計監査候補者が決定されました。

●総会

四月一日(月)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館において、保護者多数の出席を得て平成三十一年以来の対面型の総会が開催されました。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告(同日現在)並びに会計監査報告があり、異議なく承認され、続いて、本年度事業計画案、同予算案が承認されました。

引き続き役員選出が行われ、進級した役員の方の留任及び新入生保護者の新役員候補者の紹介がなされ、満場一致で承認されました。続いて、新会長には川嶋秀久氏が選任され、併せて副会長、会計、会計監査の選任が夫々なされました。

なお、総会での決定事項は本学ホームページに掲載しています。

●六月役員会報告

六月十日(土)に葛飾区柴又「川千家」において、役員会全体会が田所忠弘理事長・学長等大学関係者も出席し、開催されました。

議事において、保護者会は、十月十四日(土)に開催することが決定しました。続いて、十月と来年三月発行予定の後援会会報の発行計画案が夫々承認されました。

引き続き、役員懇親研修会が行われ、初めに、葛飾区教育委員会の主査学芸員の谷口榮氏による特別講演が行われました。

講演後に参加者は、国の重要な文化的景観に選定されている、日本を代表する景観地の葛飾柴又の散策を楽しみ、役員相互の親睦を深めました。



役員懇親研修会

管理栄養学科

地域連携への強化

管理栄養学科長 宮内 眞弓



新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行してから行動範囲が広がりとつあります。管理栄養学科では昨年度より三年後期にゼミ配属を決めて活動を開始し、各ゼミでは研究テーマを決め三年後期から一年間をかけ、仕上げていくようになりました。四年後半は国家試験対策が中心となりますが、大学以外での取り組みも今後ますます増えることと思います。前回紹介した南葛SCとの取り組みでは、選手に向けたメニューブックを作成し学生が選手へ手渡ししました。地域連携の取り組みとしては、離乳食の指導や子供への「本の読み聞かせ」、病院や他大学との研究、高齢者の食事指導などが盛んにおこなわれるようになりました。今までも取り組んできたものではあります。ゼミが三年後期からとなり学年を超えた結びつきや協力的体制など人と人のつながりを大切にしています。就職先の企業

が求めるスキルは第一位がコミュニケーション能力だそうです。仲間と協力し何か作り上げることは自信にもつながり社会に出るためのスキルアップに なっています。今後はさらに地域との連携を通し企業が求めるコミュニケーション能力や協働する力の向上、学生が苦手と感じているリーダーシップ力、自信をもって行動する力、計画立案力などの強化向上を目指した取り組みに力を入れていきたいと考えております。



南葛SCとの交流会 レシピ渡し



離乳食の指導



本の読み聞かせの様子

学友会活動報告



管理栄養学科 3年次生 石垣 来実

今年度、学友会会長に就任いたしました管理栄養学科の石垣来実です。新型コロナウイルスの

影響により総会のオンライン開催や体育祭、大学祭などの行事の中止が続きましたが、今年度より四年ぶりに学友会総会及び新入生歓迎会を対面形式での開催体育祭を無事に開催することができました。また、大学祭開催に向け準備を進めております。学生の学校生活がより充実するよう、学友会役員一丸となり精進いたしますので後援会の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

〈総会・新入生歓迎会〉

四月十一日に学友会総会・新入生歓迎会を対面にて開催いたしました。新役員の選出や承認、決算報告及び今年度の予算案等の審議を行い承認されました。今年度は三十二名の学友会役員が承認を頂きました。総会後の新入生歓迎会では講師の中西載慶先生より貴重なご講演をいただき、参加した学生にとって充実した内容となりました。その後、抽選会を行い学生間の繋がりを深める良い機会となりました。

〈体育祭〉

五月二十六日に私学事業団にて体育祭を開催いたしました。四年ぶりの開催ということもあり、企画・運営を行った学友会役員も戸惑う点が多かったですが、私たちなりに試行錯誤を繰り返し予定通りにプログラムを終了させることができました。学生同士や教職員との親交を深めることができ良い機会となりました。

学生支援センター

就職支援・就職状況

● 四年次生の就職内定状況

(株)リクルートによると二〇二四年三月卒業予定の大卒求人倍率は一・七一倍と、二〇二三年卒の一・五八倍より〇・一三ポイント上昇し、企業の採用意欲に回復基調が見られました。

令和五年度卒業生の就職内定率は、九月三十日現在で学部合計七二・七%(昨年同日七三・三%)という状況です。

学科別では、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に七〇・二%、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理職を中心に七七・一%となりました。

「食」に関する企業を志望する学生が多い本学として、適任者からの指導・助言体制を強化するため、就職支援アドバイザーを配置しており、学生は個別にオンラインや対面での面談を行うことができます。また、学生支援センターでも就職活動の相談を受け付けています。

● 一〜三年次生向け就職支援

新型コロナウイルスの感染拡大の影響でオンライン(WEB)を活用した採用選考が一気に普及しました。今後も就活生は、「対面」と「WEB」どちらも対策する必要があるため、学生支援セン

ターでは、就活準備のポイント等について、さまざまなキャリア・就職ガイダンスを実施しています。

一・二年度次生対象に、就職専門業者によるキャリア支援ガイダンスを実施し職業意識をより向上させるように指導してまいります。

就職活動が本格化する三年次生対象には、『履歴書・ES対策講座』・『インターシップ対策講座』・『就活マナー(WEB選考含む)講座』・『公務員教養試験対策講座』・『オンラインディスカッション対策講座』等の就職活動の対策講座を実施しています。また、来年二月には『学内業界説明会』を実施予定です。

就職希望の学生は、学内外のイベントに参加する等、最新情報を収集して自身の就職活動に活かして戴きたいです。

今後も教職員が連携し、学生個々の状況に応じたきめ細かい就職支援を継続していきま すので、保護者の皆様のご協力をお願い致します。



「就活マナー (WEB選考含む) 講座」

食品学科

積極的な履修を

食品学科長 北村 義明



大学生生活もようやくコロナ禍前の状況に戻りつつあります。卒業式、入学式、体育祭等の行事を通常開催し、大学祭も従前どおり開催予定です。食品学科では各種宿泊研修の再開はまだこれからですが、工場・市場見学会を、ここ数年行けなかった対象学年以外の学生も参加できるように工夫して実施していく予定です。海外研修も、食品学科主体ですが、場合によっては管理栄養学科の学生も参加していただけるよう工夫して実施予定です。ヨーロッパの情勢不安等や旅行代金の高騰を考慮して、食文化が豊かな台湾での研修を予定しています。

食品学科の学びの集大成である卒業研究・卒業制作(卒研)の発表会も、従前どおり壇上からの口頭発表と、一枚にまとめたポスターの前で発表・説明を行うポスター発表の二通りで開催

しました。他の学生の発表に接し、お互い興味を持って討論する姿が印象的でした。現四年次生の卒研もこれからが佳境です。フードビジネスコースの学生は選択科目ですが、自分がやりたい研究を自由に行うことができる数少ない機会ですので、現二年次生も積極的に履修して、大学の醍醐味である卒研を存分に楽しんでいただきたいと思えます。

もう一つ、卒業して社会人になるために役立つ授業に、三年次に開講する「インターンシップ(IS)」があります。各企業



令和5年度卒業研究・卒業制作ポスター発表会場風景

が新入社員の青田刈りをするために開催するISもあります。が、本学ではいくつかの企業や地方公共団体等のご協力をいただき、一週間程度実際の仕事場での職場体験を行います。ISを通して社会人としての常識を学ぶとともに、就職活動全般に役立つ知識・技術・能力を育みます。こちらも選択科目ではありますが、アルバイトでは得られない就職体験ができる機会です。現二年次生の保護者の皆様からも、是非三年次生での履修をお勧めいただきたいと思えます。

日本学生支援機構

奨学金制度

●貸与型奨学金・給付型奨学金
日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、教育を受ける機会を保障する、国が実施している制度です。

本制度の利用期間は、正規の修業年限(四年間)に限られ、学業成績が不振になると途中で打ち切られる場合もあります。また、本奨学金制度を利用する際に、「学力基準」及び「家計基準」の条件を全て満たす必要

があります。なお、家計急変や災害等により、収入が激減した際は、緊急採用・応急採用の救済制度があります。

●高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は、文部科学省による大学等の高等教育における「授業料や入学金の減免」及び「給付型奨学金」(日本学生支援機構)による制度として令和二年四月からスタートしました。

本学は、文部科学省から高等教育の修学支援新制度の支援対象校として認定され、「授業料・入学金の一部減免と給付型奨学金」により、意欲ある学生のみ皆さんの「学び」の支援を行っています。

修学支援新制度における申請は、春期と秋期に行っており、給付型奨学金「日本学生支援機構」「授業料等の減免」「大学(本学)」夫々に手続きが必要です。修学支援新制度や日本学生支援機構の奨学金制度に関する内容や申請方法等につきまして、学生支援センターまでお問合せください。また、各種制度等に関する詳細等は、文部科学省及び日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

文部科学省
修学支援新制度



文部科学省 URL

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

日本学生支援機構
奨学金(貸与型・給付型)



日本学生支援機構 URL

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

ホームページ
修学支援新制度・
日本学生支援機構奨学金

管理栄養学科担任紹介

一年担任
教授 宮内 眞弓



一年副担任
准教授 高橋美恵子



二年担任
教授 大塚 静子



二年副担任
助教 柴田 隆一



三年担任
教授 風見 公子



三年副担任
准教授 佐藤ひろ子



四年担任
准教授 膳法 浩史



四年副担任
講師 田中 広美



食品学科担任紹介

一年担任
教授 片山 佳子



一年副担任
教授 福留 奈美



二年担任
教授 福田 亨



二年副担任
准教授 熊谷美智世



三年担任
准教授 吉田 光一



三年副担任
講師 篠原 優子



四年担任
教授 谷本 守正



四年副担任
講師 山本 直子



後援会の寄贈

後援会では、学生全員が充実した大学生活を送れるよう、毎年様々な寄贈を通じて支援を行っています。

就職支援として、就職関連の図書の充実を図り、SPI対策や最新の書籍（公務員試験対策等）を揃え、かつ就職活動を円滑に進める為に、アセスメントテスト（学生自身が客観的に適性等を知る機会）の受験料の補助を行っています。

また、学生の活動支援として、部・同好会が使用する各種備品等や学友会が使用するパソコン一式を購入し、学友会総会等の学友会が主催とする行事を円滑かつ有意義に活用されています。

今後も、全学生が有意義に活用できる環境等の充実を図る為、引き続き支援を行っていきます。



学友会 PC



ポッチャ



就職用本

令和5年度後援会役員紹介

会長	4NA	川嶋 秀久
副会長	3NA	石垣 由美子
副会長	3FA	齋藤 美幸
会計	4NB	左 倫好
会計	3NB	鈴木 英明
会計監査	4NA	小林 由美
会計監査	3FA	須藤 直子
役員	4NA	加藤 正
役員	4NA	高橋 和江
役員	2NA	浅井 光洋
役員	2NB	鈴木 有理
役員	2NB	関口 真紀子
役員	2FA	緒方 恵
役員	2FA	片岡 良充
役員	2FB	田中 明実
役員	2FB	森田 喜衣
役員	1NA	東 尚美
役員	1NB	森谷 浩幸
役員	1FA	市川 久美子
役員	1FA	奥住 彩子